

動物の表現

江戸末期から現代まで

金沢卯辰山工芸工房 平成23年度特別展
— 工芸に見る技と美 —

平成23年

10月1日(土)~11月27日(日)

会場 金沢卯辰山工芸工房 | 2F展示室

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 火曜日

入館料 一般 300円 (20名以上団体一人250円)

65歳以上 200円 高校生以下無料

主催：(公財)金沢芸術創造財団 金沢卯辰山工芸工房

後援：北國新聞社・テレビ金沢・エフエム石川・ラジオかなざわ・北陸放送



友禅訪問着「魚のむれ」 木村雨山（前期）
（石川県立美術館蔵）



友禅空色地孔雀羽文振袖「瑞祥文」
羽田登喜男（後期）
（石川県立美術館蔵）



金銀象嵌獅子香炉 二代山川孝次
（宗桂会蔵）



金銀象嵌鬘斗押 鶴 米沢弘安
（金沢市立安江金箔工芸館蔵）



絹の道伏香炉 高橋介州
（石川県立美術館蔵）

動物の表現 江戸末期から現代まで

金沢卯辰山工芸工房 平成23年度特別展
「工芸に見る技と美」

平成元年に設立した金沢卯辰山工芸工房は、加賀の伝統を受け継ぐ工芸技術である、陶芸・漆工・金工・染色の4部門に、新しい工芸分野であるガラスを含め、5つの工房があり、現代の若い世代への新しい研修機関として活動しています。さらに、展示棟では、常設展示と特別展によって、金沢の工芸における、加賀藩前田家の伝統にもとづく藩政期末から明治・大正・昭和の作品とその技術を、研修者および一般の多くの方々にご覧いただいています。

今年度の特別展では、「工芸に見る技と美—動物の表現」と題して、江戸時代から現代までの加賀金沢にゆかりのある工芸作品を展示し、さまざまな表現技法とともに、動物表現の奥深さや面白さを鑑賞してみようとするものです。金沢卯辰山工芸工房所蔵品を中心に、陶芸・漆芸・金工・染・ガラスの各分野の作品を展示いたします。



（公財）金沢芸術創造財団

金沢卯辰山工芸工房

UTATSUYAMA CRAFT WORKSHOP

To 10 Utatsu-machi Kanazawa-shi Ishikawa-Ken 920-0832, Japan

〒920-0832 金沢市御幸町10番地 TEL076-251-7286 FAX076-251-9113

[URL] <http://www.utatsu-craft.gr.jp>

アクセス

列車 JR金沢駅下車

バス 金沢駅バスのりば90番路線、
望湖台下車、徒歩約7分

タクシー JR金沢駅前より約10分

自動車 北陸自動車道、金沢ICより約15分



磚絵秋天園衝立 二木成抱
（金沢卯辰山工芸工房蔵）



雷鳥の図箱 寺井直次
（石川県立美術館蔵）



遊魚漆飾盆 小松芳光
（金沢市立中村記念美術館蔵）



色絵蠟燭香合 二代横藤一光
（金沢卯辰山工芸工房蔵）



染付鹿猫園中図 北出塔次郎
（石川県立美術館蔵）



彩陶刺線丸紋壺 北出不二雄
（金沢市立中村記念美術館蔵）